

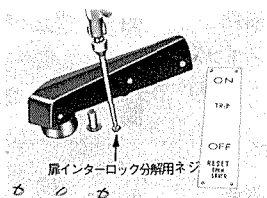
＜3.取 扱 い＞

(1) 扉の開閉

扉を閉めるときは、外部操作ハンドルをしゃ断器のハンドル位置に合わせながら閉めてください。

どのハンドルも、扉を開けたとき、バネの力で「ON」の位置に戻るようになっていきます。しゃ断器「OFF」または「TRIP」の状態では、外部操作ハンドルを、それぞれの位置に保持しながら扉を閉めて下さい。外部操作ハンドルと、しゃ断器のハンドルの位置を合わせずに、勢いよく扉を閉めると、しゃ断器のハンドルを折損することがありますのでご注意ください。

このとき、調整ねじを戻し過ぎると、「OPEN COVER」にしても扉が開けられなくなりますので、調整ねじは少しずつ戻して調整してください。もしこの様になった場合、扉インターロック分解用ねじをはずし、止軸を盤内に押し出してください。扉インターロックがきかなくなりますので、扉を開けることができます。



扉インターロックがはずれなくなった場合の解き方

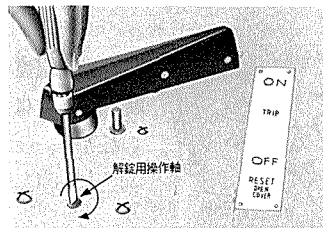
また、扉インターロック解錠装置がつかない外部操作ハンドルで、「ON」の位置で扉を開けたい場合も、この方法により扉を開けてください。

(4) 扉インターロック解錠装置

扉インターロック付で、しゃ断器「ON」のまま扉を開けたい場合に使用します。

解錠用操作軸をドライバーで時計方向にまわせば、扉インターロックが解けて、扉は開けられる状態になります。

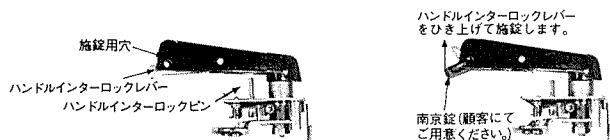
この装置の付いた裏面取付形は盤面に穴があきますので、体裁が悪い場合は、メクラ蓋をご使用ください。



扉インターロックの解錠装置

(2) ハンドルインターロックの仕方

しゃ断器の不必要な操作を防ぐためのもので「ON」「OFF」の位置で施錠できる構造になっています。「ON」「OFF」それぞれの位置でインターロック用レバーを引き上げ、施錠用穴に南京錠をかけます。南京錠は顧客においてご用意願います。

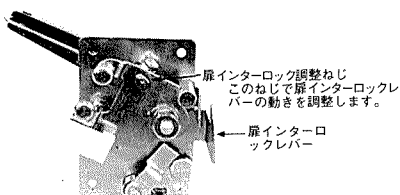


(a) インターロックをしていない場合

(b) インターロックをした場合

(3) 扉インターロック

扉インターロックは「OFF」の位置では扉が開かず、「OPEN COVER」で開くよう調整します。まず、調整ねじをいっぱいねじ込み、「OFF」操作して扉が開くかどうかしらべます。扉が開けられるようでしたら、調整ねじを戻し「OFF」で扉が開けられないようにします。



扉インターロックの調整

● 補助スイッチ・警報スイッチ・電圧引外し装置・不足電圧引外し装置

付属装置	使用例	
	接 続	目 的
警 報 スイッチ (P)		しゃ断器がトリップしたとき（回路に事故があったとき）のみ、PLを点灯又はBZを鳴らし事故表示をさせます。
補 助 スイッチ (S)		しゃ断器がOFFのときはPL ₁ が点灯し、しゃ断器がONのときはPL ₂ が点灯して、しゃ断器の状態を表示させます。
電圧引外し装置 (T)		遠方からしゃ断器をOFFにしたい場合、電氣的にしゃ断器をトリップさせます。コイルは必ずしゃ断器の負荷側に接続してください。
不足電圧引外し装置 (U)		電源電圧が70%から20%に低下した場合にしゃ断器を自動しゃ断させる装置です。

▶ リミットスイッチからの引出線(接続電線)

付 属 装 置	適 用	引 出 線 の 表 示			材 質	線 径	長 さ
		a 接点	b 接点	COM			
補助スイッチ⑤ 警報スイッチ⑥	汎用シリーズの B-403C以下	黒	赤	白	耐熱ビニル電線	φ 0.18 30芯 0.75mm ²	400mm
補助スイッチ⑤	B-603H 高しゃ断容量 シリーズ	3	2	1			500mm
警報スイッチ⑥	4極シリーズ	2	3	1			

＜コイル定格＞

● ご注文の際には、定格電圧をご指示ください。

AC 100-110V

AC 200-220V

AC 400-440V

(短時間定格 50, 60 Hz 共用)

＜コイル定格＞

● ご注文の際には、定格電圧をご指示ください。

Hz	電 圧 (AC-V)	入力(VA)
50	100, 200, 400	30
60	110, 220, 440	30